



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話 ③③③③番
③③③④
編集兼 山下 開
発行人
半年間1,200円 送料共

日中戦争 記念日 哲学者らが訴え

【連合】日本軍国主義が中国への侵略戦争を拡大する発端となつた日中戦争から四十年目の七月七日を前に、歴史学者の家永三郎、作家の松本清張、哲学者の柳田謙十郎氏ら著名十七氏は「アピール」を發表した。アピールは、この戦争で中国人民をはじめアジア諸戦争体験者八氏が出席、当時の学

國の二千万万人の人命を奪ひ、真やアルバム、軍隊手帳などを持ち寄り日本軍の残虐行為や自らの体験を語り合つた。以上が連合通信の記事であるが、軍国主義が強まってきた風潮を思ひ起すことが大切だ。

本である「坑外員で三十年勤続、一千万円」との考えにもとづき、今後討議を重ね、十月はじめに正式要求を決定する。

△救護隊手当について
先の春闘要求額(坑内員)に対する、五十二年十月一十二月の坑内員賃金実績の上昇率を、現協定額に引き上げ要求額を決定する。

△北海道士(省略)
△じん肺・せき損
要求の大綱は、じん肺法改正、ならびに労災法改正にともなう協定の整備を中心とする。それに、具体的にはそれぞれの補償への積み重ねを要する。

炭労大会、闘う決意固める まず期手40万円要求

ひき続き秋季闘争へ

炭労は十三日から十五日まで東京で定期大会を開き、七七春闘の総括のうえに立つて討論を重ねた末、四十万円の要求獲得をめざして取り組む期手当闘争のほか、石炭政策、退職手当やじん肺・せき損手当、救護隊手当、北海道手当、退職手当などの増額をめざす秋季闘争方針を、ほとんど原案通り可決。大会終了と同時に、闘いに取り組むことをきめた。

三池労組としての問題提起

三池労組は炭労大会に際し、期手当要求額の四十万円を五千万円とするほか、大要次のような修正案を提起してその実現のために努力した。

△資源問題が国民的な重大課題であること、もっと広く理解を求めるようにすべきだ。

炭労定期大会は、七七春闘の総括のうえに、エネルギー自給率を高め、掘進の増強、保安確保への助成の括のうえに、五十二年上期期末手当を基調とした長期・総合的な当闘争と秋季闘争という当面するエネルギー政策を確立すること、石炭火力発電所の設置などの各重要な闘いについて、大要次のような方針を確立。ひきつづき闘いを展開していくこととなった。

石炭政策闘争

まず要求としては、「国内エネルギー資源の合理的な開発利用にあつた機械採炭技術の開発、坑道掘の高度、炭鉱労働の特種条件から

会社は誠意ある回答を

組 合 近くCO遺族要求出す

三池労組は炭労との統一のもと、近く三井鉱山に対し、CO患者・遺族の救済に関する要求を提出することになった。一つは遺族の補償に関するもので、他はCO患者の解雇制限などに関するもの。いずれも今年協定切れとなるものが中心で、改めて協定が必要とされている。組合はすでに職場討議・中央委員会を意志統一を終り、重大な決意をこめながら、準備を進めている。

三池労組は近く三井鉱山に対し、提出することになった。これまで、改めて要求にもとづく協定が必要とCO患者・遺族に関する要求を、の補償協定が今年で切れるので、となつてきたのである。

要求は、まずCO患者関係のも、大要は、四百五十八人の労働者で、特にCO患者には死亡者が相

ので、傷病補償(年金)給付を受ける命を奪ひ、八百三十九人にも、次ぎ注目されている。

給している患者から出された「停ばるCO患者をつくり出した。今こそ、三池労組の命を守るC

年まで解雇しないこと、などの、あつた、国鉄見聞録内で起きた「O闘争の基本要求」「解雇制

十二項目に、すでに治療認定となつた患者(在籍者と退職者)の、列車の三重衝突事故(二百人内外

もの十五項目)「精密検査を行なえ」のほか)に及んでいる。日に重なることから、国民に大

なえ」のほか)に及んでいる。日に重なることから、国民に大

それに、遺族から出されたもの、打撃を与えたことがいまだに忘れ

が十二項目(「待機手当を月額七万四千円とするなど)となっている。三井鉱山は自らの災害責任の自覚

周知のように、昭和三十八年十

月九日に発生した三井炭坑に、体力に衰えがきわだつてき



止のためのOPPを、食品添加物として指定しました。

OPPのボイコットを

四月十六日、同志社大の西岡一教授が、OPPに反対し、い遺伝毒性があることをつきとめ、世の中に発表したばかりで、消費者の間から使用猛反対の声もあがっていたのが無視されました。重大な違法

なボイコットの仕方として